

令和 6 年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人曾根学園仙台幼児保育専門学校は、学校教育法及び学校教育法施行規則の定めに従い、令和 6 年度学校自己評価結果に基づいて学校関係者評価委員会を実施いたしましたので、以下のとおり報告いたします。

令和 7 年 6 月 30 日

学校法人曾根学園
仙台幼児保育専門学校 校長
自己評価委員会 委員長
新田 新一郎

1. 開催日時 令和 6 年 9 月 25 日（水） 14：00～16：00

2. 学校関係者評価委員

庄 司 昭 博	学校法人庄司学園 ねのしろいし幼稚園 園長
千 葉 亨	株式会社いちにいさん 紫山いちにいさん保育園 園長
高 橋 昌 光	本校卒業生、ぽっかぽか彩保育園 園長

3. 学校教職員出席者

緒 方 芳 大	学校法人曾根学園 理事長
新 田 新 一 郎	仙台幼児保育専門学校 校長
行 場 裕 樹	仙台幼児保育専門学校 副校長
熊 谷 ち え 子	仙台幼児保育専門学校 学生課課長
武 中 祐 司	仙台幼児保育専門学校 広報課課長

4. 学校関係者評価

(1) 基準項目毎の評価・意見

I 教育理念・目的・育人人材像

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	・こども家庭庁が新設され、保育行政が大きく変わる中、それらに対応できる人材の育成が必要である。今後は幼・保の分け隔てのない人材育成が重要になる。この点に目を向けた指導が望まれると同時に、学生もこのことを念頭において学べるような体制作りが期待される。 ・「専門力」の必要性は当然であるが、より「人間力」に力点を置いた教育、人材育成が重要である。基本的生活習慣の確立など、社会人基礎力を育成してほしい。
2	育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	

II 学校運営

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	理念に沿った運営方針を定めているか	4	・学生数確保のためには学校の特色を積極的に打ち出し、他校との差別化を図る必要がある。 ・専門性が高く多彩な講師陣は本校の強みなので、広く周知してほしい。 ・学生へのアンケートを基にカリキュラムを編成するなど、学生の興味・関心を生かすことが、学校運営の改善につながることもあるのではないかな。 ・SNS やHP の活用等、学校からの発信力が強化され改善されている。
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	
4	学校運営のための組織を整備しているか	4	
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	4	
6	意思決定システムを整備しているか	4	
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	

III 教育活動

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	・新カリキュラムの実施により、保育現場の養成に応じた人材確保を行える。より実践力のある保育者の養成および保育現場の人材不足解消を図る。 ・保育技術に力を入れた教育は素晴らしい。その取組を継続するとともに、校内で学んだ保育技術を子ども前で発表する機会も増やしてほしい。保育現場への積極的な声かけがあつてよい。 ・教育活動の継続について学校の対応に敬意を払いたい。 ・学生の時から保育現場体験を設定し、実践の場を多く設ける努力をしている。 ・ボランティア活動も貴重な経験となる。 ・研修制度の充実が図られている。 ・即戦力のある保育者の育成に保育現場と協調しながらより一層の力を入れてほしい。
2	学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	
4	教育課程について、外部の意見を反映しているか	4	
5	キャリア教育を実施しているか	4	
6	授業評価を実施しているか	4	
7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	
8	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4	
9	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	

10	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	
11	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	
12	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	
13	教員の組織体制を整備しているか	4	

IV 学修成果

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	就職率の向上が図られているか	4	・卒業生への卒後指導を行い、卒業生の社会的評価の把握に努めている点はすばらしい。 ・担任制によるクラスのまとまりの良さは本校の大きな財産である。同窓生のつながり、信頼関係をより強固なものにしていきたい。
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	

V 学生支援

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	・多様化する学生に対し、担任制度を継続しながらきめ細やかな指導を実施しており、退学率も全国平均を下回っている。保護者やスクールカウンセラーとの連携を図っていくこと、授業・学校行事を充実させ、魅力ある学校生活などで、更なる退学率減少を目指してほしい。
2	退学率の低減が図られているか	4	
3	学生相談に関する体制を整備しているか	4	
4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	
5	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3	
6	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3	
7	課外活動に対する支援体制を整備しているか	3	
8	保護者との連携体制を構築しているか	4	
9	卒業生への支援体制を整備しているか	4	
10	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3	
11	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	

VI 教育環境

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	・教育機器の充実に加え、温暖化に対応した空調設備など学生の教育環境の整備にもより一層努めてほしい。 ・光熱費の高騰にも対応して行ってほしい。
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	
3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	

VII 学生の募集と受入れ

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	・18歳人口の減少、ライバル校との競合の中、さまざまな広報媒体（SNS・映像）を活用しながら、学生募集により力を入れて行ってほしい。 ・中学生の体験活動や職業教育への講師派遣も行っていく。
2	学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	3	
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	
6	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4	

VIII 財務

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	・学納金が唯一の収入源の専門学校において、学生数の確保は学校運営・財務に直結している問題。経費削減していきながら、学生数を安定的に確保し、中長期的な経営の安定を図って行ってほしい。
2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	
4	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	
5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	
6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用している	3	

IX 法令等の遵守

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	・専修学校設置基準及び指定保育士養成課程設置基準等を遵守し、適正な学校運営に取り組んでいる姿勢が見られた。なお、今後も法令順守を保った学校運営を行ってほしい。
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	
4	自己評価結果を公表しているか	3	
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	
6	学校関係者評価結果を公表しているか	3	
7	教育情報に関する情報公開を積極的にを行っているか	4	

X 社会貢献・地域貢献

No.	自己評価指標・自己評価結果		委員意見・評価
1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	・ボランティア等の地域貢献を積極的に行い、社会貢献や保育実践力が身についた学生の育成が出来つつある。
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	

※評価欄は4段階による評価を示す（4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切）

（2）全体的な総括

・自己評価は概ね適切であると評価する。 ・学生募集についても少子化の中ではあるが、入学者の微増で改善がみられている。 ・多様化する学生への学校対応では、概ね問題ないように思える。時代の変化に対応した学校運営を行ってほしい。また、実習のスムーズな対応も良好である。 ・自己点検、自己評価を通して学校のあり方を真摯に問い直すことは極めて重要である。次年度の改善、充実につなげる努力を期待する。 ・保育業界を取り巻く環境が変化している中でも本校卒業生は安定した力を発揮しており、教育力の高さを証明している。また卒後ケアも充実しており、丁寧な教育を実践している。これからも時代に即した保育者養成へ向け教育活動に励んでほしい。 ・保育士不足による人材不足が続く中、保育業界からの学校への期待は高い。18歳人口の減少など学生募集が困難な時代だが、魅力ある学校づくりにより一層励んでほしい。
